

日本赤十字九州国際看護大学/Japanese Red
Cross Kyushu International College of
Nursing

Research achievements (2020 Jan.- Dec.)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://jrckicn.repo.nii.ac.jp/records/768

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



<リベラルアーツ・専門基礎>

教授 鈴木 清史

【論文】

守山正樹, 鈴木清史, 山本孝治, 菅原直子:「ひとりを看る目、その目を世界へ」を実現できる教育ツールの開発と適用: タイの学生の世界観に学ぶ試み, 日本赤十字九州国際看護大学紀要, (18): 13-22, 2020.

守山正樹, 鈴木清史: 指先の触覚から看護の意味と人間性を考える試み: プチプチから始めるタッチの初年次教育, 日本赤十字九州国際看護大学紀要, (18): 1-12, 2020.

教授 守山 正樹

【著書】

守山正樹: 統計学_COVID-19 禍のもとでのオンデマンド授業. NPO 法人ウェルビーイング, 1-74, 2020. <http://id.nii.ac.jp/1127/00000706/>

【論文】

守山正樹, 鈴木清史, 山本孝治, 菅原直子:「ひとりを看る目、その目を世界へ」を実現できる教育ツールの開発と適用: タイの学生の世界観に学ぶ試み, 日本赤十字九州国際看護大学紀要, (18):13-22, 2020.

守山正樹, 鈴木清史: 指先の触覚から看護の意味と人間性を考える試み: プチプチから始めるタッチの初年次教育, 日本赤十字九州国際看護大学紀要, (18): 1-12, 2020.

教授 柳井 圭子

【著書】

柳井圭子 (監訳): (担当) フォレンジック看護ハンドブック - 法と医療の領域で協働する看護実践: 福村出版, 2020. 担当 3章・第4章, 第11章, 第15章.

【論文】

柳井圭子: 「無診察治療等の禁止」は遵守されているか? 週刊日本医事新報, (5035): 46-47, 2020.

柳井圭子: 看護師の役割拡大に向けて: 「情報機器通信 (ICT) を利用した死亡診断の補助」の看護ケア. 日本看護倫理学会誌, 12(1): 20-29, 2020.

【学会発表】

柳井圭子: 死亡診断補助を巡る高度看護実践～看護師の死亡診断補助の政策決定過程と現状・課題、第7回日本フォレンジック看護学会 (オンライン開催), 2020.

【社会活動】

第7回日本フォレンジック看護学会学術集会 第3分科会長 2020年8月

【講演】

令和元年度厚生労働省委託事業 在宅見取りに関する研修事業: 医師による遠隔での死亡診断をサポートする看護師を対象とした研修会; 「法医学と看護」担当, 2020 (鹿児島・東京)

<看護の基盤>

教授 本田 多美枝

【学会発表等】

中村光江, 姫野稔子, 高橋清美, 本田多美枝, 永松美雪, 大重育美, 原田紀美枝, 苑田裕樹, 山本孝治, 隈井寛子, 小松浩子, 田村やよひ: 交流集会 大学教育再生加速プログラム (AP) 事業 テーマV「卒業時における質保証の取り組みの強化」. 第40回日本看護科学学会学術集会 (Web開催), 2020年12月12日~12月13日.

福田美和子, 岡部春香, 本田多美枝, 明神哲也, 坂本なほ子: 「人工呼吸器離脱に関わる看護実践力」尺度開発. 第16回日本クリティカルケア看護学会学術集会 (Web開催), 2020年7月1日~2020年12月31日.

【研究活動 (競争的研究資金の獲得)】

本田多美枝 (研究代表者): 省察-実践-共同思考を中核とした学習する組織創出型看護管理者支援プログラムの開発. 平成30~令和2年度科学研究費補助金基盤研究 (C)

福田美和子 (研究代表): リフレクティブコミュニティを基盤としたクリティカルケア看護実践支援モデルの開発. 平成30~令和3年度基盤研究 (C) 研究分担者

小手川良江 (研究代表): 中堅看護師のレジリエンスを引き出す支援モデルの構築. 平成30~令和3年度基盤研究 (C) 研究分担者

【社会活動】

日本看護学教育学会 専任査読委員 (2009年-2018, 2020-現在に至る)

教授 倉岡 有美子

【論文】

(解説)

倉岡有美子: 【生産性の高い、病院経営に貢献できる看護部マネジメントのキーマン! 師長の効果的な指導・支援、連携の方策】 看護師長の困難を解消に導き、成長を支援する上司のフィードバック術 経験学習ノートの活用から. 看護部長通信, 18 (4): 2-8, 2020.

倉岡有美子: 【上司と部下の信頼感がチームをつくり上げる フォロワーシップの養成】 フォロワーシップ養成のための取り組み 中堅看護師研修をとおしてフォロワーシップを育成する. 看護展望, 45 (10): 889-891, 2020.

倉岡有美子: 【上司と部下の信頼感がチームをつくり上げる フォロワーシップの養成】 看護にフォロワーシップ理論を取り入れる 看護の現場でスタッフのフォロワーシップを育成するポイント. 看護展望, 45 (10): 868-874, 2020.

吉田千文, 井部俊子, 山田雅子, 松本直子, 加藤恵子, 高井今日子, 倉岡有美子, 相澤恵子, 青野真弓: 事例を基盤とした看護管理者のための問題解決力を高める教育実践. 聖路加国際大学紀要, 6: 58-63, 2020.

倉岡有美子：【「受講しました」で終わらせない!学びを実践につなげる 研修(前)(後)のかかわり】院内外の研修について研修転移を促進するためのポイント. 看護展望, 45 (2) : 105-109, 2020.

倉岡有美子：【「受講しました」で終わらせない!学びを実践につなげる 研修(前)(後)のかかわり】総論 研修を現場の実践に生かす「研修転移」とは何か, 看護展望, 45 (2) : 98-104, 2020.

【学会発表】

倉岡有美子：「看護管理者を対象とするマネジメント理論と経験を結びつける学習プログラム」参加者が記述したリフレクション・ペーパーの分析, 第24回日本看護管理学会学術集会, 2020年8月

【研究活動（競争的研究資金の獲得）】

科学研究費補助金（基盤研究（C） 2019年4月～2022年3月

研究課題：看護師長を対象とするマネジメント理論と経験を結びつける学習プログラムの開発と評価
助成金：4,290,000円 研究代表者：倉岡有美子

【社会活動】

日本看護科学学会（2019年-2021年 和文誌専任査読委員）

福岡県宗像・遠賀保健所結核の診査に関する専門部会委員（2019年-現在）

福岡県看護協会 認定看護管理者ファーストレベルプログラム

講師：「組織管理論Ⅰ」（2019年-現在）

福岡県看護協会 認定看護管理者サードレベルプログラム

講師：「組織管理論Ⅲ」「人材管理Ⅲ」（2019年-現在）

日本赤十字社幹部看護師研修センター 認定看護管理者サードレベルプログラム

講師：「組織管理論Ⅱ」（2020年）

大阪府看護協会 認定看護管理者サードレベルプログラム

講師：「特別講義・政策提言」（2020年）

国家公務員共済組合連合会浜の町病院(2019, 2020年)、福岡和白病院(カマチグループ)(2019, 2020年)、産業医科大学病院（2020年）、福岡徳洲会病院（2020年）、福岡県看護協会（一般研修）（2020年）

【国際活動】

JICA「地域保健向上のための保健人材強化」コース 講師「日本の医療制度と医療機関」（2018年-現在）

准教授 阿部 オリエ

【学会発表等】

阿部オリエ：臨地実習における看護系大学生のケア実施に伴う看護上の判断育成に向けた臨地実習指導者の関わり：成人看護学（急性期）実習に着目して, 第40回日本看護科学学会学術集会, Web, 2020年12月.

2020年2月20日：2019年度 JICA 課題別研修「地域保健向上のための保健人材強化」研修プロジェクトにて「日本の看護人材育成/確保」について講義

講師 小手川 良江

【競争的外部資金】

2018-21 年度 中堅看護師のレジリエンスを引き出す支援モデルの構築 [JSPS 科研費 JP18K10265]

< 成育看護 >

教授 大重 育美

【論文】

大重育美：年中・年長児の足底状況と家庭の状況の関連 第 1 報. 小児保健研究, 79 (6) : 575-581, 2020.

大重育美, 衛藤泰秀, 小川紀子, 苑田裕樹, 山本幸治, 西村和美, 姫野稔子, 高橋清美, 田村やよひ：看護大学における福祉避難所の開設に向けた可能性の探索—環境の変化と人体への影響—. 日本赤十字九州国際看護大学紀要, 18 : 23-30, 2020.

教授 永松 美雪

【報告書】

永松美雪, 大重育美, 石山さゆり, 園田希, 新名美佳, 原健一：性暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け e ラーニングと DVD 映像教材の評価. 令和元年度科学研究費助成金報告書: 2020.

【全国学会】

永松美雪, 大重育美, 石山さゆり, 中村美佳, 園田希, 原健一：暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け e ラーニングの開発, 第 38 回日本思春期学会総会・学術集会, 東京, 2020 年.

【表彰】

第 39 回日本思春期学会総会・学術集会, 優秀演題賞受賞, 2020 年.

【競争的外部資金】

平成 29 年度～令和 3 年度 科学研究費助成金 基盤 C

10 代の若者向け暴力の加害者・被害者を予防する e ラーニングと DVD 映像教材の開発

研究代表者: 永松美雪

助成金額: 4,550,000 円

【国際活動】

2020 年 JICA 「保健人材開発—地方村落における地域保健」 コースにて “Midwifery education in Japan” 講義

准教授 石山 さゆり

【論文】

Ishiyama Sayuri, Tahara Takashi, Iwanaga Hiroaki, Kiyooka Yoshiko and Ohashi Kazutomo : Emotional Changes in Fetuses and Mothers over the Course of Pregnancy: Chaos Analysis of Heart Sounds, International journal of caring sciences,13(3): 1545-1554, 2020.

【学会発表等】

永松美雪, 大重育美, 石山さゆり, 中村美佳, 園田希, 原健一: 高校生・大学生における暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け映像の評価. 第 39 回日本思春期学会総会・学術集会, 2020.

【社会活動】

福岡県看護協会 副会長 (令和元年～現在に至る)
福岡県看護協会 常任理事 (令和元年～現在に至る)
福岡母性衛生学会 副会長 (令和元年～現在に至る)
福岡県看護政策懇話会委員 (令和元年～現在に至る)
福岡県要保護児童対策地域協議会委員 (令和元年～現在に至る)
福岡県性暴力対策検討会議委員 (令和元年～現在に至る)
福岡県医療団体協議会理事 (令和元年～現在に至る)
ふくおか出会い・子育て応援協議会委員 (令和元年～現在に至る)
北九州市小児慢性特定疾患対策協議会委員 (令和 2 年～現在に至る)
宗像市男女共同参画推進懇談会 会長 (H28 - 現在に至る)
宗像市防災会議委員 (H27 - 現在に至る)
福岡教育大学 (非常勤講師) (H27 - 現在に至る)

助教 園田希

【報告書】

永松美雪, 大重育美, 石山さゆり, 園田希, 新名美佳, 原健一: 性暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け e ラーニングと DVD 映像教材の評価. 令和元年度科学研究費助成金報告書: 2020.

【全国学会】

永松美雪, 大重育美, 石山さゆり, 中村美佳, 園田希, 原健一: 暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け e ラーニングの開発, 第 38 回日本思春期学会総会・学術集会, 東京, 2020 年.

【学会発表】

永松 美雪, 大重 育美, 石山 さゆり, 園田 希, 新名 美佳, 原 健一: 暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け e ラーニングの評価. 第 39 回日本思春期学会総会・学術集会. 【優秀演題賞受賞】

園田希, 高畑香織, 堀内成子: 初産婦が乳児とふれ合うことによる乳児へのイメージの変化. 第 34 回日本助産学会学術集会, 新潟: インターネット集会, 2020 年 3 月.

【研究助成】

科学研究費助成金 若手研究 2019 年 4 月～2022 年 3 月
研究課題: 胎児への愛着を促進する「Mama's Touch プログラム」の効果検証
助成金: 4,160,000 円 研究代表者: 園田希

【社会活動】

2018 年～宗像市子育て支援センター「ふらこっこ」ミニ相談会での助産師活動
2020 年 7 月～日本看護系大学協議会 広報・出版委員

助教 松中 枝理子

【著書】

植木慎悟, 松中枝理子: 第IV章 論文クリティークの実践 3. クリティーク・チェックシートの活用 ⑥ システマティックレビュー. 牧本清子, 山川みやえ編: 研究手法別のチェックシートで学ぶ よくわかる看護研究論文のクリティーク 第2版. 242-247, 日本看護協会出版会, 東京, 2020.

松中枝理子: 第V章 例題論文を用いたクリティークの実際 8. システマティックレビュー. 牧本清子, 山川みやえ編: 研究手法別のチェックシートで学ぶ よくわかる看護研究論文のクリティーク 第2版. 331-337, 東京, 日本看護協会出版会, 2020.

(分担翻訳) 植木慎悟, 山川みやえ (編) 牧本清子 (監修): JBI: 推奨すべき看護実践 海外エビデンスを臨床で活用する. 東京, 日本看護協会出版会, 2020.

【論文】

松中枝理子, 的場圭, 山田絵里, 植木慎悟, 山川みやえ: 研究者と臨床家が Evidence を共につくるために Evidence と Evidence-based Practice の実現に向けた共通認識をもつ. 看護研究, 53(4): 330-339, 2020.

Matsunaka E, Kumagai Y, Ike M, Takano S, Kogo M: Decision - making process to undergo surgery among adolescent patients with cleft lip and/or palate. Japan Journal of Nursing Science, 17(4), e12342, 2020.

【学会発表】

松中枝理子, 大重育美: 講義期間における看護学生の睡眠に関する横断研究－睡眠の質の学年間比較と良好な睡眠を確保するための工夫－. 第51回日本看護学会-看護教育-学術集会, 示説発表, 2020.

【その他】

令和2年度～3年度 日本赤十字九州国際看護大学奨励研究費

COVID-19 流行下における幼児の保護者の日常生活とメンタルヘルスへの影響要因に関する Mixed Method

研究代表者: 松中 枝理子 助成金額: 491 千円

助手 橋本 真貴子

【学会発表】

橋本真貴子, 佐藤珠美: アジア圏の外国人女性が日本における出産で直面した予想と現実のギャップの有り様. 第34回日本助産学会学術集会 (オンライン). 2020年3月22日

< 老年・慢性看護 >

教授 中村 光江

【講演・講義】

2020年2月 第12回教育フォーラム In 九州産業大学 (福岡市) 講師

『『学士課程教育』と『看護現場での現任教育』のシームレスな接続を目指して』

【研究支援】

2016年 - 福岡赤十字病院看護研究支援 (継続中)

【専任査読者】

2017年－ 日本赤十字看護学会 専任査読者 和文・英文
2016年－ 日本慢性看護学会 専任査読者
2016年－ Reviewer of the Japan Journal of Nursing Science
2015年－ 日本腎不全看護学会 専任査読者

【地域】

2017- 福岡県宗像・遠賀保健所運営協議会委員
2016- 福岡県宗像・遠賀保健所結核の診査に関する専門部会委員

【その他委員】

2017- 大学基準協会 大学評価分科会委員

教授 姫野 稔子**【論文】**

大重育美, 衛藤泰秀, 小川紀子, 苑田裕樹, 山本孝治, 西村和美, 姫野稔子, 高橋清美, 田村やよひ：
看護大学における福祉避難所の開設に向けた可能性の探索-環境の変化と人体への影響-. 日本赤十字九州国際看護大学紀要, 18:18-30, 2020.

【研究助成金の獲得】

平成31年度～令和3年度 科学研究費補助金 基盤研究C
虚弱高齢者に対する口腔ケアモデルの作成
研究代表者：酒井久美子 研究分担者：姫野稔子 助成金額：2,860,000円

【社会活動】

宗像市介護保険運営協議会委員 (2019～)
岡垣町国民健康保険運営協議会委員 (2019～)

【学会関連】

ヒューマンケア研究学会 査読委員 2019～

助教 西山 陽子**【論文】**

西村伸子, 川崎幹子, 西山陽子, 藤枝史朗, 岡村美智子：認知症高齢者の食事性低血圧による転倒予防の検討, 姫路大学大学院看護学研究科論究, 3:85-91, 2020.

助教 山本 孝治**【論文】**

山本孝治：老年期クローン病患者が病気と加齢を踏まえ自分らしく生活できるための支援、医学書・医学雑誌出版社日本プランニングセンター、月刊雑誌「難病と在宅ケア」、25(12):28-31, 2020.

大重育美, 衛藤泰秀, 小川紀子, 苑田裕樹, 山本孝治, 西村和美, 姫野稔子, 高橋清美, 田村やよひ：看

護大学における福祉避難所の開設に向けた可能性の探索～環境の変化と人体への影響～、日本赤十字九州国際看護大学紀要、18：23-30, 2020.

守山正樹, 鈴木清史, 山本孝治, 菅原直子:「ひとりを看る目、その目を世界へ」を実現できる教育ツールの開発と適用:タイの学生の世界観に学ぶ試み、日本赤十字九州国際看護大学紀要、18：13-22, 2020.

【学会発表】

Yamamoto K., Nunotani M.: A literature review of self-care in patients with Crohn's disease. The 8th Annual Meeting of Asian Organization for CROHN'S & COLITIS, E-poster presentation, Busan, Korea, December 16-18, 2020.

(シンポジウム・交流セッション)

中村光江, 姫野稔子, 高橋清美, 本田多美枝, 永松美雪, 大重育美, 原田紀美枝, 苑田裕樹, 山本孝治, 隈井寛子, 小松浩子, 田村やよひ:大学教育再生加速プログラム(AP)事業テーマV「卒業時における質保証の取り組みの強化」, 第40回日本看護科学学会学術集会(交流集会), 東京, 2020.

【研究助成】

2020年度～2023年度 科学研究費(基盤研究C)

クローン病患者のセルフケアの再構築を促進させる看護アセスメントツールの開発

研究代表者:山本孝治 助成金額:4,842(千円)

2019年度～2024年度 ファイザー製薬医学教育プロジェクト助成(研究分担)

炎症性腸疾患患者に対する適切な医療の提供に向けた教育プログラム

「インストラクショナルデザインを用いたIBD外来看護専門家育成プログラムの開発」

研究代表者:瀬戸奈津子, 研究分担者5名 助成金額:7,440(千円)

<ヘルスプロモーション・在宅看護>

教授 小野 ミツ

【論文】

川嶋元子, 小野ミツ, 難波峰子, 今井恵:中規模病院の外来看護師による在宅療養支援を可能にする要因, 日本地域看護学会誌, 23(2):52-58, 2020,

准教授 緒方 文子

【論文】

Kohei Kajiwara, Jun Kako, Masamitsu Kobayashi, Hiroko Noto, Ayako Ogata: Met and unmet care needs of persons with dementia in-home. *Geriatrics & Gerontology International*, doi: 10.1111/ggi.14123, 2020.

Masamitsu Kobayashi, Jun Kako, Kohei Kajiwara, Ayako Ogata: Letter to the Editor in response to Greidanus et al: "The Successful Return-To-Work Questionnaire for Cancer Survivors (I-RTW_CS): Development, Validity and Reproducibility". *Patient*, doi: 10.1007/s40271-020-00470-3, 2020.

Kohei Kajiwara, Jun Kako, Masamitsu Kobayashi, Hiroko Noto, Ayako Ogata: Effects of Caregiver

Dementia Training in Caregiver–Patient Dyads. Int J Geriatr Psychiatry, doi: 10.1002/gps.5399, 2020.

Kohei Kajiwara, Jun Kako, Masamitsu Kobayashi, Ayako Ogata: Questioning the Randomized Trial of a Hospice Video Educational Tool for Patients with Advanced Cancer and Their Caregivers. Cancer 126(20):4617, doi: 10.1002/cncr.33132, 2020.

【依頼原稿、報告書等】

岡順子, 鳩野洋子, 住徳松子, 後藤智江, 嶋津多恵子, 緒方文子, 松尾和枝: 倫理委員会報告 第8回日本公衆衛生看護学会学術集会ワークショップ報告 日常業務の中で扱う情報の公表—倫理と個人情報保護の視点から—. 日本公衆衛生看護学会誌, 9(1): 55-58, 2020.

【学会発表】

緒方文子, 鳩野洋子: 5日間連続夜勤における日周期性疲労の変動—慢性疲労が高い群と低い群との比較—. 第8回日本公衆衛生看護学会学術集会 (松山市), 2020年1月

鳩野洋子, 岡順子, 住徳松子, 後藤智江, 嶋津多恵子, 緒方文子, 松尾和枝: 日常業務の中で扱う情報の公表 ~倫理と個人情報保護の視点から~ (倫理委員会企画). 第8回日本公衆衛生看護学会学術集会 (松山市), 2020年1月

【競争的資金等の研究課題】

5日間連続夜勤を開始する新規採用職員の疲労・ストレス・眠気に関する縦断研究
日本学術振興会: 科学研究費補助金 基盤研究(C)
研究期間: 2019年4月~2022年3月 研究代表者: 緒方文子

【社会活動】

(委員歴)

日本公衆衛生看護学会 表彰委員会委員 (2020年6月~現在)
福岡県宗像・遠賀保健所運営協議会保健事業部会委員 (2019年4月~現在)
宗像市国民健康保険運営協議会委員 (2019年4月~現在)
日本公衆衛生看護学会 倫理委員会委員 (2018年6月~2020年6月)

准教授 西村 和美

【論文】

大重育美, 衛藤泰秀, 小川紀子, 苑田裕樹, 山本孝治, 西村和美, 姫野稔子, 高橋清美, 田村やよひ: 看護大学における福祉避難所の開設に向けた可能性の探索: 環境の変化と人体への影響. 日本赤十字九州国際看護大学紀要, 18: 23-30, 2020.

【学会発表】

Satoshi Ikeda, Kayoko Koga, Kazumi Nishimura, Hisanori Hiro, The relationship between occupational stress, work-life balance and mental health of home care staff (The first report), The 6th International Nursing Research conference of World Academy Nursing Science, 2020.

Satoshi Ikeda, Kayoko Koga, Kazumi Nishimura, Hisanori Hiro, The relationship between occupational stress, work-life balance and work engagement of home care staff (The second report), The 6th International Nursing Research conference of World Academy Nursing Science, 2020.

Satoshi Ikeda, Kayoko Koga, Kazumi Nishimura, Hisanori Hiro, Survey of violence on home care staff by patients and their families (The third report), The 6th International Nursing Research conference of World Academy Nursing Science, 2020.

【その他の研究費】

2020年2月～2021年12月

日本看護科学学会「高齢者尿失禁ケアガイドライン」SR チームメンバー

2020年度研究助成 公益財団法人 テルモ生命科学振興財団

研究課題：在宅ケアにおける位置情報系 ICT を用いた支援要請システム

研究代表者：池田智

【その他】

メディカコンクール 看護師国家試験模擬テスト 在宅看護領域（2016年～2021年）

【社会活動】

宗像市ルックルック講座 講師 2020年1月10日

【国際活動】

2020年2月 JICA 研修 企画・運営

講師 西尾 美登里

【論文】

(原著)

古賀佳代子, 木村裕美, 久木原博子, 西尾美登里：地域包括支援センター保健師の専門性に関する研究. 日本農村医学会雑誌, 69(1)：1-6, 2020.

中村次代, 中野旬之, 稲井裕子, 西尾美登里, 坂梨左織, 緒方久美子, 古賀佳代子, 岡留朝子, 森悦秀：50歳以上の日本人における歯数と歩行速度の関連についての検討. 日本歯科衛生学会雑誌, 14(2)：2-7, 2020.

Hiroko Kukihara, Niwako Yamawaki, Michiyo Ando, Midori Nishio, Kayoko Koga, Hiromi Kimura, Takuro Matsuda：Effects of Exercise and Mindfulness-Based Yoga Programs on Promotion of Resilience and Mental Health of Older Adults in Japan: A Randomized Controlled Trial. *Psychology*, 11(2), 2020. doi: 10.4236/psych.2020.112018

緒方久美子, 木下幸代, 和田秀一, 峰松紀年, 林田好生, 寺谷裕充, 坂梨左織, 頼永桂, 押川麻美, 西尾美登里：協同的パートナーシップによる冠動脈バイパス術後のセルフケア支援プログラムの有用性の検討—高齢患者—事例に対する介入—. *インターナショナル Nursing Care Research*, 19(2)：113-122, 2020.

西尾美登里, 木村裕美, 古賀佳代子, 小林光恵, 田村馨：自立神経測による妻へのフェイシャルケア効果の基礎的研究. *FREGRANCE JOURNAL*, 48(4)：55-61, 2020. 韓国語にて翻訳された *FREGRANCE JOURNAL KOREA*, 94-101, 2020.

木村裕美, 西尾美登里, 古賀佳代子, 久木原博子：在宅認知症高齢者の介護者の対人信頼感による介護負

担感への影響と要因. 日本農村医学会雑誌, 69(2) : 111-120, 2020.

Kimura Hiromi, Nishio Midori, Kukihara Hiroko, Koga Kayoko, Inoue Yuriko: A life ability and care experience of the care family of the dementia elderly person who lives at home. Asian Pacific Journal of Disease Management. 9(1-2): 1-8, 2020.

(総説 症例報告)

西尾美登里：認知症者を介護する男性のストレス反応と支援. 地域ケアリング, 22(3) : 46-50, 2020.

西尾美登里, 尾籠晃司, 内田直樹：認知症の妻の介護を通し,家族会の役割を獲得し社会的介護負担が軽減した夫の一例. 精神科, 37(2) : 180-184, 2020.

Hiroko Kukihara, Niwako Yamawaki, Michiyo Ando, Midori Nishio. Hiromi Kimura. Yoshiko Tamura : The mediating effect of resilience between family function and mental well-being in hemodialysis patients in Japan: a cross sectional design. Health and Quality of Life Outcomes. 18(1): 233, 2020. doi: 10.1186/s12955-020-01486-x

【講演】

男性のための介護支援講座 佐賀市男女共同参画事業 2020年12月

【学会発表】

西尾美登里, 木村裕美, 古賀佳代子：男性介護者の援助を求める力, 第25回日本在宅ケア学会学術集会 2020年6月(高知)

坂梨左織, 西尾美登里, 緒方久美子, 古賀佳代子：商業施設の健康測定会に参加した地域住民のソーシャルキャピタルと口腔関連 QOL の関連, 第25回日本在宅ケア学会学術集会 2020年6月(高知)

古賀佳代子, 木村裕美, 西尾美登里, 池田智, 井上ゆりこ：熊本地震の1年後における就労者の精神的健康について - 車中避難が PTSD に与える影響 -, 第79回日本公衆衛生学会総会 2020年10月

Midori Nishio, Sayori Sakanashi: Situation leading to the abuse of men who care for their wives and mothers. International Health Humanizes 2020年10月(オンライン)

【社会活動】

男性介護者の料理教室活動 山口油屋福太郎共同 2015年～現在に至る

日本看護協会福岡県支部職能委員会 委員 2018年～現在に至る

BMFSA 学会 選挙管理委員会 委員 2020年度

日本認知症ケア学会 副支部会長 2020年～

福岡市保健福祉局高齢社会部認知症支援 Next meeting 2020年～

【研究活動(競争的研究資金の獲得)】

2020年 受託研究費 2,000千円 認知症者へのオンライン診療における質の検討と家族経験価値の研究 第9回杉浦地域医療振興助成研究費

2020年 受託研究費 100千円 地域の軽度認知症者と高齢者を対象とした嚥下と嚥下食の勉強会 日本認知症ケア学会

2020年 受託研究費 500千円 介護未経験の高齢者男性の救援力 SONPO ジェントロジー研究助

成

(研究分担者分)

2020—2023 年度 文部省科学研究費基盤研究(C) 総額 4,834 千円 高齢者施設職員のケアの質向上のためのレジリエンストレーニングプログラムの開発 (研究代表者 久木原博子)

2018 - 2021 年度 文部科学省科学研究費基盤研究(C) 総額 4,420 千円 緊急に人工呼吸器を装着した患者へのコミュニケーション支援に関する国際比較 (研究代表者 緒方久美子)

2018 - 2021 年度 文部科学省科学研究費基盤研究(C) 総額 4,160 千円 認知症ワーキングケアラーのエンパワメントを高める教育支援プログラムの開発と検証 (研究代表者 坂梨左織)

2016 - 2020 年度 文部科学省科学研究費基盤研究(C) 総額 4,810 千円 地域虚弱高齢者の認知機能にポジティブ情動をもたらす運動・ケアプログラムの開発 (研究代表者 木村裕美)

【その他】

2020 年 3 月 福岡市ヘルスケアラボ承認 第一号

助教 宮川 淳子

【学会発表】

宮川淳子, 加藤憲司, 都筑千景: 高齢者介護予防プログラム地域別参加者の実態とフレイル評価. 第 8 回日本公衆衛生看護学会学術集会 (松山市), 2020 年 1 月

助教 鎌田 ゆき

【論文】

鎌田ゆき, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二: 精神障がい者アウトリーチ実践自己評価尺度の開発と信頼性・妥当性の検討. 日本精神保健看護学会誌, 29(1): 70-79, 2020.

古野貴臣, 藤野成美, 藤本裕二, 鎌田ゆき: 行動・心理症状の薬物療法を受けている一認知症高齢者に対する訪問看護師の判断の視点. 日本在宅看護学会誌, 8(2): 70-78, 2020.

Takaomi Furuno, Narumi Fujino, Yuji Fujimoto, Hiroko Shirai, Yuichi Iwamoto, Yuki Kamada, Fumi Yamaguchi: Development of a visiting nursing practice self-evaluation scale for patients with behavioral and psychological symptoms of dementia. Research in Gerontological Nursing, 13(1): 49-60, 2020.

【学会発表】

脇崎裕子, 藤野成美, 鎌田ゆき, 古野貴臣, 藤本裕二: 急性期病院に入院した身体合併症をもつ認知症患者の退院後の課題 多部署看護師ヘインタビュー調査, 第 40 回日本看護科学学会学術集会, 2020 年

鎌田ゆき, 藤野成美, 脇崎裕子, 古野貴臣, 藤本裕二: 急性期病院に入院する認知症患者の退院に向けた同一施設内看護師間の情報共有の内容, 日本看護研究学会第 46 回学術集会, 2020 年

<メンタルヘルス>

教授 高橋 清美

【論文】

高橋清美: 双極性障害—その世界と可能なるケア特集 双極性障害当事者とその家族の命のために看

護ができること. 精神科看護, 47(2): 33-36, 2020.

【社会活動】

令和2年4月～日本口腔ケア学会評議員

准教授 石飛 マリコ

【論文】

宇佐美しおり, 石飛マリコ: 精神障害者の地域生活促進のためのセルフケア看護介入に関する現状と問題点. PASセルフケアセラピー看護学会誌, 2(2): 5-12, 2020.

【学会発表】

精神障害者の地域生活促進のためのセルフケア看護介入に関する文献レビュー, 石飛マリコ, 宇佐美しおり, 日本看護科学学会学術集会第40回, 2020.

【社会活動】

PASセルフケアセラピー看護学会 広報委員会 委員 2018年12月1日～2020年8月31日

PASセルフケアセラピー看護学会 事務局員 2019年6月18日～2020年8月31日

PASセルフケアセラピー看護学会 理事 2019年9月1日～2021年8月31日

第30回日本精神保健看護学会学術集会 執行委員 2018年12月3日～2020年6月14日

日本精神保健看護学会 災害対策委員会委員 2019年9月8日～2021年定時代議員会最終時

厚生労働委託事業 新型コロナウイルス感染症に対する障害者施設等の職員のためのサポートガイド作成業務等一式 2020年9月4日～2021年3月31日

<クリティカルケア・災害看護>

助教 苑田 裕樹

【教材】

苑田裕樹: “今さら聞けない”がわかる 数値・データの見方の味方「心電図」: 日総研WEB教材, 2018年6月～2020年6月配信

【論文】

大重育美, 衛藤泰秀, 小川紀子, 苑田裕樹, 山本孝治, 西村和美, 姫野稔子, 高橋清美, 田村やよひ: 看護大学における福祉避難所の開設に向けた可能性の探索: 環境の変化と人体への影響. 日本赤十字九州国際看護大学紀要, 18: 23-30, 2020.

【学会発表等】

- ・後小路隆, 苑田裕樹: 看護師を対象とした超音波検査研修の評価と課題, 第12回日本医療教授システム学会総会・学術集会(東京, WEB開催), 2020年8月
- ・喜多敏博, 松居辰則, 北村光司, 富田賢吾, 苑田裕樹: 教育で防ぎ得た重大事故を防ぐ能動的LMSを軸とする安全教育システムの実現にむけて, 日本教育工学会2020年春季全国大会(長野, WEB開催), 2020年2月
(シンポジウム)
- ・苑田裕樹: 救急看護におけるシミュレーション教育の学習設計-コロナ禍における看護大学のクリティカルケア実習の学習設計-: 交流集会, 第22回日本救急看護学会学術集会(大阪, WEB開催), 2020年

12月

- ・苑田裕樹：特殊外傷対応の極意-致命的胸部外傷の緊急脱気と呼吸管理-：ワークショップ，第22回日本救急看護学会学術集会（大阪，WEB開催），2020年12月
- ・日本赤十字九州国際看護大学 AP 実行委員会（中村光江，姫野稔子，高橋清美，本田多美枝，永松美雪，大重育美，原田紀美枝，苑田裕樹，山本孝治，隈井寛子，小松浩子，田村やよひ）：大学教育加速プログラム（AP）事業，テーマV「卒業時における質保証の取り組み強化」：交流集会（K28）第40回日本看護科学学会学術集会（東京，WEB開催），2020年12月

【研究活動（競争的研究資金の獲得）】

2019年度～2021年度 科学研究費（基盤研究B）「教育で防ぎ得た重大事故を防ぐ能動的LMSを軸とする安全教育システムの実現」研究代表者：喜多 敏博 助成金額：17,160千円（直接経費；13,200千円、間接経費；3,960千円）

<国際看護>

教授 小川 里美

【学会発表】

小川里美，田村やよひ：インドネシアの看護師、看護管理者が捉えるキャリア開発ラダー導入の効果と課題。第21回日本赤十字看護学会，2020.

助教 宇都宮 真由子

【学会発表】

宇都宮真由子：青年海外協力隊（JOCV）への参加を節目として経験した看護職のキャリアデザイン。第40回日本看護科学学会集会，2020.